

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア  
 コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 北角浩一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 世古哲久  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日 配当支払開始予定日 未定

TEL 058-371-7275

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	211	28.1	50		51		41	
23年3月期第1四半期	293	40.6	15		32		48	

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 51百万円 ( %) 23年3月期第1四半期 69百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第1四半期	1,980.09	
23年3月期第1四半期	2,332.77	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第1四半期	1,646		905		55.0
23年3月期	1,768		960		54.3

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 905百万円 23年3月期 960百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期		0.00		200.00	200.00
24年3月期					
24年3月期(予想)		0.00		200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	1,049	50.7	29	183.0	25		10		478.07
通期	2,288	3.2	107	66.0	97	68.1	59	74.0	2,838.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	21,375 株	23年3月期	21,364 株
24年3月期1Q	290 株	23年3月期	290 株
24年3月期1Q	21,080 株	23年3月期1Q	20,930 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア新興国市場の経済成長による輸出拡大等により一部で景気回復の兆しが見られたものの、雇用情勢や所得環境は依然厳しい状況で推移いたしました。さらに、当年3月11日に発生した東日本大震災の影響は甚大であり、材料の調達、生産、物流等に多大な影響を与えています。また、個人消費は引き続き厳しい状況で推移し、国内経済の先行きは一層の不透明感を増しております。

当社グループが属するゲーム業界におきましては、コンシューマ市場が冷え込んだ反面、インターネット利用環境は向上しSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）サイトにおけるソーシャルゲーム市場は著しく拡大する等、事業環境が大きく変化を遂げております。

コンシューマゲーム業界におきましては、市場の飽和に伴いハード市場の落ち込みが見られますが、当年6月7日にPlayStation Vita、Wii Uが発表されるなど、新型ハードウェアの発売に伴う市場の盛り上がりが見込まれております。モバイルゲーム業界では、スマートフォン（高性能携帯電話）への買い替え需要が進む中、オンラインゲームマーケットが拡大したことに加え、SNSサイト上のソーシャルゲームにおけるアイテム課金制度の普及により、市場規模は高い成長を遂げており、参入企業の増加による競争が激しさを増しております。アミューズメント業界では、東日本大震災及び計画停電の影響を受け、アミューズメント施設の営業休止及び営業時間の短縮が行われたことに加え、業界全体の集客率の回復も見られず、依然として低調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、パッケージ事業では市場の変化に対応すべく、ニンテンドー3DS、PlayStation Vitaの両ハードにおいて高品質な新規タイトルの開発に注力いたしました。また関連製品につきましては、コミックマーケットをはじめとした国内外のイベントへの参加の準備を進めてまいりました。オンライン事業では、Android OS搭載端末のスマートフォンに向けたゲームアプリの配信を行いました。ライセンス事業では、他社とコラボレーションしたソーシャルゲームの配信という新たな試みを展開いたしました。その他事業では、ゲームセンターと喫茶店を融合させた『えきまえひろば』の開設及び運営等を進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高211,395千円（前年同期比28.1%減）、営業損失50,417千円（前年同四半期は15,848千円の営業損失）、経常損失51,116千円（前年同四半期は32,592千円の経常損失）、四半期純損失41,741千円（前年同四半期は48,825千円の四半期純損失）となりました。

当社は、本年4月1日より今後の成長戦略として、新たな経営理念「Entertainment for All」を掲げ、幅広いメディア、幅広いジャンルを通じた当社価値の提供の実現に向け、取り組んでおります。

報告セグメントにつきましても、今後の成長戦略に則ったマネジメント・アプローチにより、報告セグメントの変更について検討した結果、新たな報告セグメントを決定いたしました。当第1四半期より、新たな報告セグメントであるパッケージ事業、オンライン事業、ライセンス事業、その他事業の区分により業績を公表いたします。

セグメント別の業績は、以下の通りです。

#### (パッケージ事業)

パッケージ事業におきましては、国内で『魔界戦記ディスガイア2 PORTABLE PSP the Best』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）を発売いたしました。また、2月に発売いたしました『魔界戦記ディスガイア4』（PlayStation 3専用ゲームソフト）、3月に発売いたしました『クラシックダンジョンX2』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）のいずれも堅調に推移してまいりました。

また、当第2四半期に向けて、国内では『ピクリマン漢熟霸王 三位動乱戦創紀』（ニンテンドー3DS専用ゲームソフト）、国外では『Bleach: Soul Resurreccion』（PlayStation 3専用ゲームソフト）、『Disgaea 4: A Promise Unforgotten』（PlayStation 3専用ゲームソフト）等の販売準備を行っております。

当社の新作タイトルに合わせたグッズの製作・販売につきましては、当社ホームページでの通信販売サイトの運営をはじめとした、新規顧客の獲得と既存顧客の満足度の向上に努めました。さらに当第2四半期に向けて「コミックマーケット80」「Anime Expo 2011」といった国内外の大型イベントへの出展準備を行っております。

その結果、当事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高125,825千円、営業損失34,384千円となりました。

#### (オンライン事業)

オンライン事業におきましては、PlayStation Networkへの不正アクセスによる障害によりDLC（ダウンロードコンテンツ）の配信が行えない状況であったものの、復旧後にDLCの配信が円滑に再開できるよう準備を進めるとともに、Android OS搭載端末のスマートフォンに向けたゲームアプリ『無限魔界ディスガイア』の配信を行いました。今後も、国内外で成長を続けるスマートフォン市場に向けて意欲的にコンテンツの供給を行ってまいります。

その結果、当事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高38,774千円、営業利益25,930千円となりま

した。

(ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業としてGREE向けソーシャルゲーム『ビックリマン』のサービスを開始いたしました。ソーシャルゲーム市場への足がかりとするとともに、新規ユーザー層の獲得を図りました。

その結果、当事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高19,120千円、営業利益16,376千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、地域における当社の認知度の向上と収益率の改善を図る為に、各務原市六軒駅前にゲームセンターと喫茶店を融合させた『えきまえひろば』を開設し運営を行いました。

また、当第2四半期に株式会社プロコリーから発売される「うたのプリンスさまっ Repeat」を受託し、開発を行ってまいりました。同シリーズは、当年7月よりテレビアニメで放映されるなど注目を集めております。

その結果、当事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高27,674千円、営業損失635千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,646,050千円となり、前連結会計年度末に比べ122,683千円の減少となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の減少(前連結会計年度末に比べ38,296千円の減少)、受取手形及び売掛金の減少(前連結会計年度末に比べ、217,723千円の減少)等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加(前連結会計年度末に比べ27,934千円の増加)等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は740,872千円となり、前連結会計年度末に比べ67,203千円の減少となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の減少(前連結会計年度末に比べ31,714千円の減少)、未払法人税等の減少(前連結会計年度末に比べ9,934千円の減少)等によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の減少(前連結会計年度末に比べ7,501千円の減少)等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は905,178千円となり、前連結会計年度末に比べ55,479千円の減少となりました。

主な純資産の増減は、四半期純損失による減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間の業績は概ね当初の予想どおりに推移しており、平成23年3月期決算短信(平成22年5月13日付公表)において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

業績予想に関する留意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料公表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。今後の経済情勢・市場の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は業績予想と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、海外連結子会社については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	487,251	448,955
受取手形及び売掛金	292,912	75,189
商品及び製品	20,128	67,628
仕掛品	72,896	122,351
繰延税金資産	14,301	13,885
その他	65,179	81,366
<b>流動資産合計</b>	<b>952,670</b>	<b>809,375</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	373,709	368,735
機械装置及び運搬具(純額)	1,732	1,413
土地	172,746	172,746
その他(純額)	36,420	35,302
<b>有形固定資産合計</b>	<b>584,609</b>	<b>578,197</b>
<b>無形固定資産</b>		
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	191,534	219,468
その他	23,463	24,164
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>214,998</b>	<b>243,633</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>816,064</b>	<b>836,674</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,768,734</b>	<b>1,646,050</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	80,420	48,705
短期借入金	279,600	309,600
1年内返済予定の長期借入金	39,175	36,674
未払金	63,998	53,460
未払法人税等	11,698	1,764
賞与引当金	18,305	13,150
売上値引引当金	70,408	56,155
その他	53,508	37,040
流動負債合計	617,114	556,551
固定負債		
長期借入金	183,249	175,748
退職給付引当金	7,092	7,826
その他	620	746
固定負債合計	190,961	184,321
負債合計	808,076	740,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,870	244,062
資本剰余金	233,870	234,062
利益剰余金	593,815	547,859
自己株式	16,870	16,870
株主資本合計	1,054,684	1,009,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,126	5,194
為替換算調整勘定	88,899	98,739
その他の包括利益累計額合計	94,025	103,934
純資産合計	960,658	905,178
負債純資産合計	1,768,734	1,646,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	293,971	211,395
売上原価	126,853	74,551
売上総利益	167,117	136,843
販売費及び一般管理費	182,966	187,261
営業損失( )	15,848	50,417
営業外収益		
受取利息	486	895
受取配当金	378	639
その他	1,672	913
営業外収益合計	2,537	2,448
営業外費用		
支払利息	2,211	1,386
為替差損	16,736	1,760
その他	333	-
営業外費用合計	19,280	3,146
経常損失( )	32,592	51,116
特別利益		
固定資産売却益	-	4
債務免除益	3,990	-
特別利益合計	3,990	4
特別損失		
開発中止損失	21,122	-
特別損失合計	21,122	-
税金等調整前四半期純損失( )	49,724	51,111
法人税等	899	9,370
少数株主損益調整前四半期純損失( )	48,825	41,741
四半期純損失( )	48,825	41,741

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	48,825	41,741
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	5,526	68
為替換算調整勘定	15,321	9,840
その他の包括利益合計	20,847	9,908
四半期包括利益	69,673	51,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,673	51,649
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

〔セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ事業	モバイル事業	アミューズメント事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	269,754	8,054	9,811	6,351	293,971	-	293,971
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	269,754	8,054	9,811	6,351	293,971	-	293,971
セグメント利益又はセグメント損失( )	32,024	3,791	2,852	1,654	31,308	(47,157)	15,848

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額47,157千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	オンライン事業	ライセンス事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	125,825	38,774	19,120	27,674	211,395	-	211,395
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	125,825	38,774	19,120	27,674	211,395	-	211,395
セグメント利益又はセグメント損失( )	34,384	25,930	16,376	635	7,287	(57,705)	50,417

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額57,705千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来、セグメント情報における事業区分につきましては、「コンシューマ事業」、「モバイル事業」、「アミューズメント事業」及び「その他事業」の4つの事業区分としておりましたが、当第1四半期連結累計期間から、今後の成長戦略に則ったマネジメント・アプローチにより、報告セグメントの変更について検討した結果、「パッケージ事業」、「オンライン事業」、「ライセンス事業」及び「その他事業」の4つの事業区分に変更しております。

変更後の各報告セグメントの主要製品は次のとおりであります。

事業区分	主要製品
パッケージ事業	家庭用ゲームソフト、関連グッズ、物品販売
オンライン事業	家庭用ゲームソフトのダウンロード販売、携帯電話用コンテンツ、スマートフォン用コンテンツ、SNSサイト課金
ライセンス事業	著作権の使用許諾収入
その他事業	アミューズメント施設の運営、上記以外

なお、変更後の区分方法による前四半期連結累計期間の情報を算定することが困難なため、当第1四半期連結累計期間について、前連結会計年度の区分方法により算定した情報を開示しております。

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ事業	モバイル事業	アミューズメント事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	151,471	8,964	4,038	46,921	211,395	-	211,395
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	151,471	8,964	4,038	46,921	211,395	-	211,395
セグメント利益又はセグメント損失( )	4,669	1,152	7,718	11,489	7,287	(57,705)	50,417

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額57,705千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。